



校長室の窓から

「改善する姿勢」

8月18日に、全校生徒に対して放送による校長講話を実施しました。その内容の一部を転載することで、私の思いを保護者の皆様にお伝えしたいと思います。

7月20日に実施した講話において「自分の利益だけにとらわれず、他のために、社会をよりよくしたいという『思い』と『志』を持ち、『誰かのために』を頭においてこれからも高校生活を送って欲しい」という話をしました。その後、8月9日の平和学習では、25人の生徒のみなさんが企画し、66人で当日の運営をしてくださいました。非常に素晴らしい内容で、全校生徒の皆さん一人ひとりが、平和について真剣に考えることができた時間になったのではないかと思います。今回の企画・運営に関わった生徒のみなさんは、まさに、自分の利益だけでなく「国際平和のために」「全校生徒のために」実践してくれたのです。素晴らしいことです。ありがとうございました。

次に部活動についてです。どの部活動も厳しい制限の中で活発に活動しています。その中で本校男子バレーボール部が、高校総体の代替試合に当たる県の大会で優勝しました。私も準決勝の長崎南山戦、決勝の大村工業戦を観戦・応援することができましたが息詰まる熱戦で感動的な試合でした。私が特に印象深かったのは試合中の選手の動きです。準決勝と比べ、その30分後にあった決勝は見違えるようになっていたのです。後日、監督の友松先生に聞いてみると「私からの指示ではなく、子どもたちが準決勝でうまくいかなかったことについて話し合い修正したのだと思います。」という話でした。確かに試合中も、監督からの指示待ちではなく自分たちで考え試合を作っていたようです。また、先生は「毎日の練習の中で気をつけていることは、スパイクが決まったなどの結果だけを見るのではなく、自分が改善したいことがきちんと改善できているかをチェックさせることを大事にしています。」とも言われていました。毎日の練習で培った「自分たちで分析して改善する」ということを実践しての勝利でした。

さて、今日はこの「改善する姿勢」についてもう少し触れたいと思います。プロ野球のヤクルトスワローズや楽天イーグルスの監督を務め、今年2月にお亡くなりになった野村克也さんは「失敗と書いて成長と読む」とおっしゃっています。プロの世界でもミスやエラーはあります。三流が三流のまま終わるのか、三流から一流になるのか、それは、そのミスやエラーをした後で決まるとおっしゃっています。成功や勝利から学ぶことは少ない。人間は負けや失敗から多くのものを学ぶということです。確かにそうです。「何で試合に勝ったのだろう」とはなかなか考えません。「なぜ負けたのだろう」と考えるのです。そして、失敗したからこそ、「自分のやり方はおかしいのではないかと」と疑問を抱き、正そうと考えるのです。健康なときに「なぜ、自分は健康なのだろう」とは、なかなか考えません。体調を崩したときに「なぜ、体調を崩したのだろう」と考えることが多いと思います。

もう一つ紹介します。蓄音機や白熱電球、現代のテクノロジーにも繋がる電気自動車など、多くの発明をした「トーマス・エジソン」についてです。エジソンは、失敗してもそれを反省し改善していくことで成功に近づくことの大切さを「失敗は成功の母」「私は失敗したことがない。ただ、一万通りの、上手いかわない方法を見つけただけだ。」「それは失敗ではなく、その方法では上手いかわないことがわかったのだから成功なのだ。」などの言葉で伝えています。おそらくエジソンは実験が「失敗した」のではなく「なぜそのような結果になってしまったのか」に注目し、自分が求めている結果にたどりつかなかった理由を、一つ一つ潰していき、最後に求めていた結果へと、たどりついただけだと思うのです。

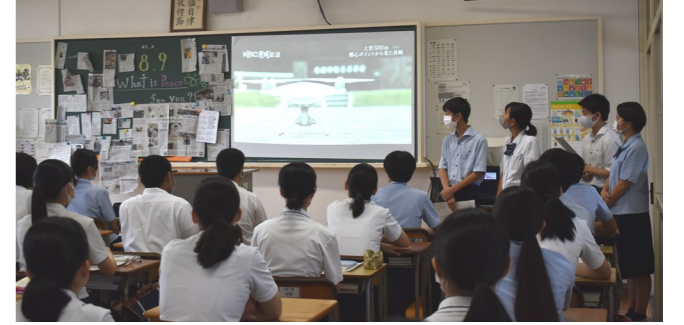
皆さんも、今の自分に満足することなく、これまでの自分を見つめ直し、できることから改善し、小さなことからの学びを大切に、実践していきましょう。

8月9日 平和学習

「発信」

昨年度から、本校では、有志の生徒を募り、「佐南ピースアンバサダー（平和大使）」として、生徒が平和学習を企画し、実施する取り組みを行っています。今年度は、1・2年生の生徒から、60名を超える生徒が志望し、平和学習を企画しました。新型コロナウイルスと熱中症への対策を兼ねて、各教室で、ピースアンバサダーが作成したプレゼンテーションを用いた平和学習を行いました。「若者の戦争の認識」、「過去や現在の戦争・紛争」について考えることで、「平和であるとはどういうことなのか」「平和のために自分にできることは何か」ということを、一人ひとりが真剣に考えていました。

今年度の平和教育のテーマ「発信」にある通り、ピースアンバサダーの積極的かつ主体的な活動によって全校生徒が次世代に向けて平和のための「発信」ができるようになるという意識を高めました。今後は今回学んだことや、これから学ぶ原爆や平和についての理解を深めて、南高生一人ひとりが発信していく立場に立ってほしいと願います。



上写真：ピースアンバサダーが各教室で動画や写真などを使用して発表を行う様子

ピースアンバサダーの感想

2年1組3番 梅田優衣

私は今回の平和学習のテーマを「発信」に決め、それに沿った内容を考えていく企画班のリーダーとして、平和を発信する上で何を伝えるべきかなどをみんなで試行錯誤し、プレゼンを完成させることができました。作っていく中で、原爆の恐怖や戦争の実態についてより理解を深めることができ、貴重な体験となりました。この経験を今後に生かし、自分にできることを考え行動していきたいです。

2年1組16番 土田桃香

今回、副リーダーとして平和学習の企画をし、私も多くのことを学ぶことができ、改めて平和について考えるいい機会になりました。今年のテーマでもあるように、私たちが今回学び、考えたことを、次世代に“発信”していきたいと思います。

2年3組39番 山脇凛久

私は今回、副リーダーとして自分たちがテーマに沿って内容をまとめることが一番大変でした。難しかった分、たくさん調べて、より多くの戦争の歴史や悲惨さを学ぶことができました。この経験を現代の生活に結びつけ、日々の生活に感謝しながら生活していきたいです。

1年5組24番 中村友哉

ピースアンバサダーの活動を通して、世界の至る所で紛争が起きているという事実を学びました。日本に住んでいると、何気なく友達と話したり遊んだりする時間が当たり前すぎて、どんなにその当たり前な生活が大切なものかを考えていませんでした。しかし、世界のどこかでは、僕と同年代の人が戦場へ行き、武器を手に取り戦っているということを学び、今の生活に感謝していくと同時に、この平和な世の中をいつまでも続けるように、考え、行動しないといけないと思いました。

発表で使用したスライドの一例

生徒の感想（一部抜粋）

平和の実現のためにも僕は少しでも原爆のことについて調べて発信をするようにしていきたい。そして自分から原爆はどういうものかと、それを知らない人に教え、平和な世界を自分の身近から作られるようにしたい。今日学んだことを忘れずに戦争の恐ろしさや平和の尊さを大切にしたいと思った。

第72回 体育祭

ブロック結成式

8月19日(水)、令和2年度南高祭第72回体育祭に向けて、ブロック結成式が行われました。今年の体育祭のテーマ「∞(Infinity)～輝け!僕らが創る新章～」のもと、3つのブロックで、ブロック長をはじめとするブロック役員がそれぞれ、自己紹介とブロックの団結を呼びかけました。いよいよ9月6日(日)の体育祭に向けて、各ブロックが動き始めました。ブロックの構成は次の通りです。

	A (青)	B (赤)	C (黄)
1年生	1-1	1-5	1-3
	1-2	1-6	1-4
2年生	2-1	2-2	2-3
	2-5	2-6	2-4
3年生	3-2	3-3	3-1
	3-5	3-4	3-6



出張講義

7月30日(木)に、大学や企業から講師の先生方をお招きし、3年生を対象に特別講義を実施いただきました。長崎国際大学学長の安藤由喜雄先生による医療系講座をはじめ、長崎大学の西川先生には『先進診断技術の海外輸出』、同大学石橋先生には『風景のとらえ方・作り方』、佐世保市にある株式会社えびす代表取締役の北村先生には地域活性化をテーマに、それぞれお話をいただきました。生徒たちは、各分野の第一線で活躍される先生方のお話に、真剣に耳を傾けていました。受講した生徒にとっては、自身の視野を広げる貴重な機会になったのではないかと思います。



高総体代替試合結果

本年度6月に予定されていた長崎県高総体が中止となったことを受けて、高総体を目標に頑張ってきた高校生のために、代替試合の実施について検討され、一部の競技ではありますが、代替の大会や交流試合等が開催されました。その中で主だった結果をお知らせいたします(個人戦を除く)。

○男子バレーボール部

第13回長崎県バレーボール協会長杯 長崎県高等学校男女バレーボール選手権大会

2回戦 2-0 海星 勝ち

準々決勝 2-0 長崎工業 勝ち

準決勝 2-1 長崎南山 勝ち

決勝 2-1 大村工業 勝ち 優勝

○女子バレーボール部

第13回長崎県バレーボール協会長杯 長崎県高等学校男女バレーボール選手権大会

1回戦 0-2 向陽 負け

○男子バスケットボール部

三校対抗戦 3Qまで

32-46 佐世保北 負け

25-55 佐世保西 負け

○女子卓球部

TOP8シード 学校対抗戦

1回戦 0-3 長崎女子商業 負け

順位決定戦 3-2 諫早商業 勝ち

○陸上競技部

第19回長崎県高等学校陸上競技選手権大会

男子 4x100MR 稲田・松山・小林・山本 予選敗退

男子 4x400MR

Aチーム:山本・松山・富田・富永 予選敗退

Bチーム:稲田・草村・小林・吉田 予選敗退

女子 4x100MR

渡部・中尾優・中尾桃・中島 予選敗退

女子 4x400MR

渡部・中尾優・中尾桃・多久島 予選敗退

○男子剣道部

佐世保南・川棚高等学校剣道部節目大会

0-3 川棚 負け

○野球部

令和2年度長崎県高等学校野球大会

1回戦 3-10 佐世保北 負け

9月行事予定(予定)

- 9月 2日(水) 体育祭総練習
- 4日(金)・7日(月) 体育祭振替休日
- 5日(土) 体育祭会場設営
- 6日(日) 体育祭
- 12日(土) Sプロ(3年)
- 15日(火) 文化祭(アルカスSASEBO)
- 16日(水) 防災避難訓練
- 19日(土) Sプロ(2年)
- 19日(土)~20日(日) 対外マーク模試(3年)
- 24日(木) 入試説明会(中学校対象)

※コロナウイルス感染拡大防止のため、急に変更になる場合がございます。

